

税 労 第 62-049 号
令和 4 年 2 月 17 日

各地区本部執行委員長 殿
中 央 執 行 役 員

日本税関労働組合
中央執行委員長 倉 本 和 邦

第 62 期第 4 回中央執行委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

第 62 期第 4 回中央執行委員会議事録

- 1 開催日時 令和 4 年 2 月 4 日 (金) 午前 10 時から午後 4 時
- 2 開催場所 W e b (中央書記局、各地区本部書記局、自宅)
- 3 出席者
[中央執行委員長]
倉本和邦
[副中央執行委員長]
堀田将恵、齋藤雅記、原川佳也
[中央書記局]
鈴木宏彰 (書記長)、村岡和弥 (書記次長)
[中央執行委員]
武田靖、太田美菜、秋山浩一、佐藤裕一、脇中啓之、長谷川兼史郎、浦中篤、新里薫、
呉屋堯歩
- 4 議題
 - (1) 職場諸要求について
 - (2) 中央委員会について
 - (3) 各種専門委員会について
 - (4) 各地区本部情勢報告
 - (5) その他
- 5 議事内容
○中央執行委員長挨拶
・東京もコロナの感染者が 2 万人を超える状況となっている。これから附帯決議が控えているので、感染しないように気を引き締めて活動していきたいと思っている。
・給与法の改正案が 2 月 1 日に閣議決定され、国家公務員の期末勤勉手当を 0.15 か月引き下げ、年間で 4.30 か月となった。引き続き、人事院等から何かしらの情報があれば、各地区本部に共有していく。
・議員会館内でも感染者が出ており、例年のような活動ができない懸念もあるが、できるだけ附帯決議の要請書は、対面で議員に手交できるように秘書と調整して進めていく。

(1) 職場諸要求について
ア 交渉方法及び人員について
現在の予備交渉状況について、鈴木書記長から説明があった。

- ・交渉方法については、現在、まん延防止措置中であることから、財務省において、対面での時間制限があり、要求書提出 15 分、回答 15 分で当局と調整することとした。回答が 15 分のため、書面で詳しい回答がもらえることとなっている。

- ・人員については、通常は副中央執行委員長も同席するが、上記の状況もあり、今回は、
提出時：鈴木書記長、村岡書記次長、齋藤副中央執行委員長（来期を見据えて）

- 回答時：鈴木書記長、村岡書記次長

とすることとした。ただ、過去の交渉で横浜であっても県跨ぎは、当局から遠慮された経緯があるので、上記人員について、当局に確認することとした。

イ 要求事項について

鈴木書記長から要求書の変更箇所について説明があった。

- ・新規要求事項はなし。

- ・諸手当（寒冷地手当）の要求書要旨について、函館地区本部が挙げている支署出張所のほかに具体的に挙げて欲しいところがあれば、来週中までに中央まで報告することとした。報告が間に合わない場合は、5月の第2回関税局長交渉で盛り込むことも可能。

- ・業務処理の諸問題について、2027年に国際園芸博覧会が予定されており、税関出張所の要望や保税展示場等、業務量の増加も見込まれるので、文中の大阪万博の後に追記することとした。

- ・定員と処遇改善の部分で、級別を取っても、発令で使われていないことがある。行（一）等は、ひとくくりになっているので見えない部分があるが、海事職は明確に言い切れるので、当局に対して、要求書に記載しないにしても伝えていくこととした。

（2）中央委員会について

- ・4月22日（13:00-17:00）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、4月に中央委員会を開催することは組合員からの理解を得られない可能性があることから、現段階では開催しない方向とした。ただし、3月の状況をみて、状況が好転していれば、WEB開催することとする。どちらにせよ、集合での開催は望めないことから、会場の仮押さえはキャンセルすることとした。

- ・中止となったとしても、何かしらの機会を設けて、議案書の配布及び説明を行うため、議案書の作成は、進めていくこととした。

- ・上記のとおり、WEBでの開催の可能性もあることから、選挙で選ばれている中央委員については、予定を空けておくように伝えておくこととした。

（3）各種専門委員会について

ア 海事職専門委員会（三浦、武田、齋藤、佐藤、浦中、福本）

- ・1月22日午後にWEBで開催済み。

- ・議事録は作成中。要求書ができれば、当局と日程調整を進めていく。

- ・来期の海事専門委員長については、大阪地区本部に選出を打診している。

イ 行2・医3専門委員会（秋山、浅野、齋藤、佐藤、新里）

- ・1月22日午前にWEBで開催済み。
- ・議事録は担当中執確認中。確認が終われば各地区本部に共有する。要求書は作成済み。
- ・来期の行2専門委員長については、依頼できる人を各地区本部で検討することとした。

ウ 男女協働委員会（堀田、太田、齋藤、佐藤、脇中）

- ・2月10日に開催予定。
- ・答申については共有済み。

エ 青年委員会（村岡、呉屋）

村岡書記次長より、第3回青年委員会で検討した以下について報告があり、了承された。

- ・JCUセミナーについては、4月に開催する方向で進めている。
- ⇒青年委員会では、4月上旬の開催を検討したが、過去に寒かったとの意見もあったとのことで、柔剣道大会も中止になったことから、4月中旬で再検討することとした。
- ・JCUセミナーの参加定数について説明した。
- ⇒定数にこだわることなく、各地区本部の事情により、地区本部間で融通できるように案内することとした。
- ・新職に配布する手帳については、青年委員会で検討した結果を説明した。
- ⇒良いものであれば、今後定期大会の代議員等にも配布することも検討することとなった。

（4）各地区本部情勢報告

ア 函館

- ・釧路の監視艇「はまなす」が秋田に配備替えとなり、新型艇「ちょうかい」となる。来週、退役式の予定。情報収集した結果では、釧路の船員を含めた異動の身上把握が本日举行われ、3月1日付の異動ではないかと思われる。1月中旬に当局から、代替の新型艇が秋田に配備される前までに体制を整えたと聞いている。秋田に船員がいないと体制が整わないので3月1日の異動ではないかと考えている。
- ・オルグについては、1月中旬から3月中旬にかけて役員を派遣してオルグをしている。しかし現状はまん延防止措置中なので、今後やるところはオンラインがメインとなる。
- ・春闘期の人事院北海道事務局長交渉を3月1日に札幌で行う予定。

イ 東京

- ・検疫応援が足りないとのことで増員となっている。
- ・旗開きは本関の事務室でくじ引きを行った。本関にいる組合員の300/600人がきてくれた。
- ・オルグについては、コロナの状況を鑑みて中止を考えている。

ウ 横浜

- ・ 1 月 2 日に 3 名、2 月 2 日に 1 名が加入した。
- ・ 人事院東北事務局長交渉（佐藤中執対応）が 3 月 4 日、人事院関東事務局長交渉（前田委員長対応）が 2 月 22 日頃の予定。

エ 名古屋

- ・ 旗開きは中止したので抽選会を実施した。現在、抽選用紙が集まっている途中。
- ・ 検疫応援の要請はあるが、今のところ、派遣する予定はないとのこと。
- ・ 人事院中部事務局長交渉を 3 月 1 日に行う予定。

オ 大阪

- ・ オルグについては、実施できていない。コロナが落ち着いたら実施したい。

カ 神戸

- ・ 集合型の旗開きを 1 月 13 日に実施。来賓として、倉本中央執行委員長、大阪地区本部の徳地委員長と書記長にきていただいた。今回は立食ではなく、4 名掛けのテーブルでパーティーションをして実施した。参加した組合員からは、行ってよかったと聞いている。
- ・ オルグについては、まん延防止措置が解除されたら行う予定。
- ・ 青年レクを 1 月に予定していたが、状況的にできないので、5 月か 6 月に USJ レクをする予定。
- ・ 書記が野田さんから杉田さんへ交代となった。勤務時間は 09:30-15:45 となっている。

キ 門司

- ・ 旗開きは中止した。代わりに衛生用品としてマスクと除菌シートを配布した。
⇒ 函館から、どのくらい配ったのか質問があり、マスクは 1 箱。女性もいるので、普通と小さめを購入して、女性は小さめを配った。シートは 25 枚入りを 1 パック。それ以外にビタミン剤を配布した。とのことであった。
- ・ オルグについては、まん延防止措置が解除されてから検討する予定。

ク 長崎（欠席）

ケ 沖縄

- ・ 先行採用が 3 名いると聞いているので、加入懇懇を 3 月に実施する予定。
- ・ オルグについては、コロナの状況によっては、昨年と同じ書面による聴取になるかもしれない。

コ 中央

- ・ 書記を暫定的に 3 月まで雇っている。勤務時間は、火木の 10:00-15:00。
- ・ 先日、出勤途上財務省西門で阪田関税局長と会ったため、局長室までの間少し話をした。

年末の人員査定について御礼を伝えたところ、局長から「現場の皆が頑張っているから人がついた」との暖かいお言葉があった。

(5) その他

ア 公務労協からテレワーク・勤務時間インターバル等に関する調査・報告等のお願い
鈴木書記長から経緯等について説明があり、各地区本部から以下の意見等があがった。

- ・最近、民間でオフィス回帰が注目されている。テレワークを進めるのはいいが、オンラインゲームレベルの環境が整備されないと実効性がないのではと思う。そういう環境が整備されてからの話ではないかと思う。

- ・現在は事務連絡が出ていて、今後の在宅では成果物を求められている（CIS等の業務ツールを使う場合は不要）。

- ・打刻ちゃんは、日付を跨ぐとリセットされるようで、退庁時間が入らない仕様となっている。当直は忘れる前に押しておけという雰囲気があるようで、勤務実態の管理としては甘いものとなっていると聞いている。

- ・当局としては、なんでこんな時間になったのと確認するためにしている。打刻忘れで処分等はない。

イ 2022 春闘に係る要求書について

鈴木書記長から経緯等について説明があり、変更箇所は、基本的に数字のみ。提出時期は3月の第3週を予定している。その後、各地区本部から以下の意見があがった。また、委員会後、各地区本部に改めて意見聴取のメールをすることとした。

- ・「4 公務に必要な寮・宿舎については、確実に確保すること。」の部分について、確実に確保することの前に、「現在生活における必要最小限度の機能を備えた寮を」を付してほしい。

⇒中央）局長交渉でもそういう文言を足しているところがあるので、検討する。

ウ その他

（ア）連合 2022 春季生活闘争「3．8 国際女性デー」中央集会について

- ・動員要請について、各地区本部に事務連絡で依頼していることを共有した。

（イ）令和5年の概算要求について

- ・各地区本部に事務連絡で依頼していることを共有した。

以上